

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 壊疽性膿皮症患者における重症度と生活の質の評価</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野 葉山 惟大</p>
<p><研究期間> 機関の長の承認日～ 令和 10 (西暦 2028) 年 3 月 31 日</p>
<p><対象となる方> 日本大学附属板橋病院で2014年1月1日から2025年1月31日までに壊疽性膿皮症と診断され治療された方。</p>
<p><研究の目的> 本研究は、壊疽性膿皮症の重症度と生活の質の関係を明らかにすることを目的としています。本研究により、より適切な治療方針の確立や患者さんの生活の質向上に貢献することを目指します。</p>
<p><研究の方法> 2014年1月1日から2025年1月31日までに壊疽性膿皮症と診断され、日本大学医学部附属板橋病院で治療を受けた患者さんを対象とし、診療記録をもとに病気の重症度や治療歴を評価します。重症度の評価には、電子カルテに記録された臨床所見や治療内容を用い、主治医の診断時の評価も考慮します。さらに、患者さんの背景因子である年齢、性別、既往歴、治療歴を収集し、病気の重症との関連を統計学的に解析します。</p>
<p><研究に用いる試料・情報の項目> 年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、治療歴（経口ステロイド、免疫抑制剤、アダリムマブ）、血液検査（全血球計算, CRP）、病理組織学的所見</p>
<p><外部への試料・情報の提供の方法> 現時点では予定しておりませんが、今後行うときは倫理委員会に申請したのちに情報公開を行います。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野 葉山 惟大 03-3972-8111 (2502)</p>

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方